

「川の流れ観察装置の泉川小学校での活用例」

去る１０月３１日（水）に、泉川小学校にて「川の流れ観察装置」を用いた授業が行われました。この装置は中萩小学校（当時）の加藤茂樹先生が考案したもので、これに少し改良を加え、新居浜高専の学生により小学校の授業で活用できるように１０台製作したものです。

この「川の流れ観察装置」は小学校５年生の「流れる水のはたらき、流水による土地の変化」の単元で活用することができます。

ご協力いただいた泉川小学校の合田先生から当日の様子の写真と感想文をいただきました。その中で児童たちから「上流、中流、下流の様子が一度に見られて比較できた」「内側と外側の川の流れの違いがよくわかった」「横から見られて流れがよくわかった」などの感想がありました。

